

箕面市の財政公表

～平成30年度決算で10年連続黒字を達成～
 圖財政経営室 ☎724・6708 FAX723・2096

平成30(2018)年度決算は、9月3日から10月18日まで開かれた市議会定例会で審議の結果、適正であると認定を受けました。

平成30年度決算では、財政状況の健全度合いを示す4指標について引き続き高い水準を維持し、経常収支比率も10年連続で黒字を達成しました。総合運動場の施設改修や北大阪急行線延伸整備など将来への投資を積極的に行いつつ、基金残高は一定の水準を保つなど、メリハリのある財政運営に努めました。

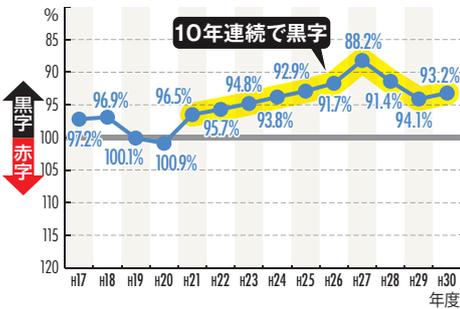
経常収支のバランス

経常収支比率

93.2%(-0.9ポイント)

退職手当などの人件費の減少に加え、市税収入の増加により、10年連続で黒字を維持しています。

家計に例えると、「毎月の給料で、毎月の生活費が賅えているか?」を示しています(経常収支比率が100%を超えると、家計では赤字の状態です)。



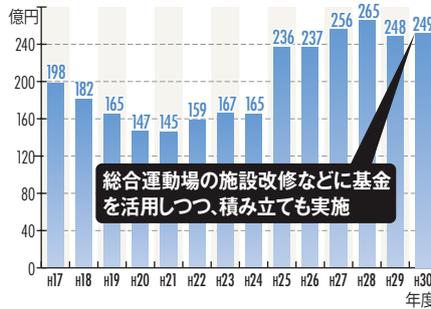
基金の状況

基金残高(普通会計)

248億8700万円(+5200万円,+0.2%)

総合運動場の施設改修や、大阪北部地震などの災害復旧事業に基金を活用しつつ、今後の財政需要に備えて積立てを行った結果、基金残高は5200万円増加しました。

家計に例えると「貯金」です。



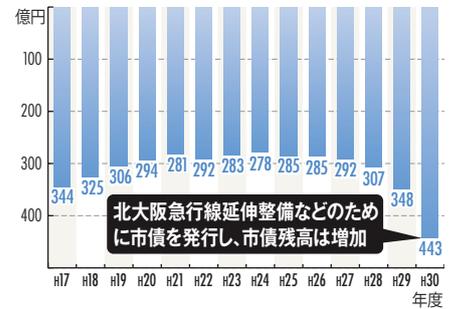
市債の状況

市債残高(普通会計)

443億3500万円(+95億4500万円,+27.4%)

着実に返済を進める一方、北大阪急行線延伸整備や、環境クリーンセンター基幹改良工事など将来への投資を積極的に行ったことにより、市債残高は約95億円増加しました。

家計に例えると「ローン」です。



健全化判断比率の状況

市の財政が健全かどうかを表す指標です。平成30年度決算は、4指標全てにおいて、引き続き高い水準を維持しており、健全で余力のある状態を維持しています。

実質赤字比率

緩やかな景気回復傾向による市税収入の増加や退職手当の減少などにより、0.03ポイント改善しました。

家計に例えると、「年収に対する赤字の割合」を示しています。



連結実質赤字比率

特別会計国民健康保険事業費の累積赤字縮減などにより、1.67ポイント改善しました。

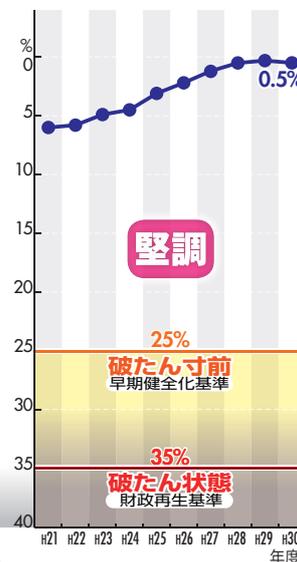
家計に例えると、「同居している家族全員の年収総額に対する赤字総額の割合」を示しています。



実質公債費比率

公債費の増加などにより0.2ポイント上昇したものの、健全な水準を維持しています。

家計に例えると、「年収に対するその年のローン返済額の割合」を示しています。



将来負担比率

大量退職期の終了に伴い、退職手当支給予定額が大幅に減少したことなどにより、4.4ポイント改善しました。

家計に例えると、「年収に対するローン残高など将来支払わなければならない額の割合」を示しています。

